

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書

中津市溝部槻木地区

平成24年7月  
大分県中津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した数値目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	観光客数	人/年	75,800	85,000	85,000	確定 見込み ●	○	あり なし	90,786	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	猿飛千壺峡、魔林峡は依然増徴傾向にあり、河川プールも前年より増加していることから、観光地として評価されてきたと考えられる。
指標2	健康交流センター来館数	人/年	3,700	5,000	9,480	確定 見込み ●	○	あり なし	9,946	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	診療所を含めた健康センターの来館者は年々増加している。今後は槻木地区の拠点として更なる有効活用が望まれる。
指標3	生活環境満足度	ポイント	3.0	3.5	4.27	確定 見込み ●	○	あり なし	4.21	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	約7割の住民が道路事情の改善や医療面の充実を感じており、約8割の住民が槻木地区における生活環境が良くなったと回答している。
指標4						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・効果を持続させるための行 う方策	観光客や来訪者が快適で豊かな自然を満喫できる環境の維持 と観光資源の活用	源流河川プールや摩林峡遊歩道沿いの維持 管理体制の確立。	地域住民の手により、定期的な雑木・草木の伐採 や整理が行われ、良好な景観が保たれている。	旅行代理店とのタイアップ、観光・旅行情報誌 でのPRなどによる来訪者増への取り組み。
	診療所や交流センターを活用した交流イベント等の開催	槻木地区前谷ふれあいサロンを年5回開催し、 健康体操、レクリエーション、カラオケなどで1 日を楽し過ごした。	閉じこもりがちな高齢者に、外出する機会ができ、 体を動かし、会話も弾み、参加者からは好評であっ た。	ふれあいサロンを引き続き実施する。地区民 だけではなく、保育園児や大学生との交流会 も実施していきたい。
改善策  ・まちづくりの目標を達成する ための改善策 ・残された課題・新たな課題 への対応策 ・その他 必要な改善策	市民が自然と触れ合う機会と場の整備	源流河川プールの未使用期間を利用し、山国 の特産物であるエノハの釣堀を実施した。	無料釣堀で実施したため、市内外より3,103名の来 場者があった。地域産物の黒豚も販売し、親子連 れなどで賑わった。	現有施設の有効利用にもなり、引き続き釣堀 を開催する。周年開催できるか有料営業に取り 組む。
	観光資源の活用による観光産業の活性化	地元観光ガイドと協力し、猿飛千壺峡や魔林 峡などの観光資源と巡るまち歩きコースを設 定	地区内に訪れる観光客に対し、きめ細やかなサー ビスの提供が可能となった。	観光資源とイベント(かかしワールド等)が連 動した周遊コース(見どころ、食事・土産)の設 定を検討中
	高齢者向けの移動手段の整備	溝部地区サロン大将陣については、市有マイ クバスにより試験的に参加者の送迎を実施し た。	家の近くまで送迎することにより、足の不自由な方 も参加することができ、多くの地域住民の方との交 流ができた。	地域内のサロンも年々増えてきており、送迎に ついては問題になりつつある。社会福祉協議 会や住民組織源流の郷やまくに福祉の会と連 携して、参加しやすい環境づくりを検討してい く。

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地域住民・来訪者のマナーアップ	「来た時よりも美しく」作戦。源流河川プールから槻木中心地までの河川沿いは、 夏場の自然キャンプ客が多い。自分たちのゴミはもちろん、遊んだあとはきれいに して帰るように呼びかける。	7月～9月	不特定多数の来訪者に対する周知方策。地域住民との協力体 制。